

日本農業気象学会 2025 年東北支部大会 日程とプログラム

■ 日程

2025 年 8 月 21 日（木）～22 日（金）

■ 会場

TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口 カンファレンスルーム 6J（8 月 21 日）

宮城県仙台市青葉区花京院 1-2-15 ソラプラザ 6F（JR 仙台駅西口徒歩 3 分）

および視察先（8 月 22 日）

※ 対面のみで開催（オンラインでの実施はございません）

■ 日程

1 日目：8 月 21 日（木）

1. 支部評議員会 12:00～13:00（評議員のみ・カンファレンスルーム 6D）

2. 特別講演会（話題提供）13:10～13:50

宮城県における気候変動の影響と対策

菅野博英（宮城県古川農業試験場）、櫻井晃治（宮城県農業・園芸総合研究所）

3. 一般研究発表会 14:00～15:50

4. 総会 16:00～16:50

5. 情報交換会

1) 場所：「ウメ子の家仙台駅前店」

仙台市青葉区中央1丁目7-4、宮城商事ビル1F（仙台駅から徒歩 3 分程度）

2) 時間：18時～20時

3) 会費：5,000 円

2 日目：8 月 22 日（金）

現地視察（エクスカーション）8:50 頃～12:00（予定）

集合・解散場所：JR 仙台駅東口

視察先：東北大学ナノテラス、仙台市中央卸売市場（青果部門）

※ 視察先には貸し切りバスで移動します。会費は徴収しません。

一般研究発表プログラム

1. 東北水稲作柄表示地帯ごとの耕種期日のトレンド検出
○井上聡・大久保さゆり・金谷真希（農研機構東北農業研究センター）
2. 宮城県北部における強風の発生条件および地形との関係.
○石田祐宣（弘前大院理工）・板橋瑞紀（弘前大理工）
3. 青森県における水稲有機栽培の晩植が雑草防除に及ぼす影響
○木村利行（青森県産業技術センター農林総合研究所）

～休憩～

4. Assessing the Sensitivity of Crop Yields to Agricultural Drought
: A Comparison Between Dam and Community-Based Water Systems in Indonesia
○ Amalia Nafisah Rahmani Irawan (Tohoku University)
5. 近年の降雹事例における降雹予測ノモグラムの適用性について
○横山仁・出世ゆかり・下瀬健一・飯塚聡（防災科学技術研究所）
6. 輸送効率の向上を目指した高解像度テンサイ収量予測アプリの開発
○金谷真希（農研機構 東北農業研究センター）

===== 一般研究発表にあたってのお願い =====

■研究発表方法

研究発表は口頭で行っていただきます。時間は原則 1 件あたり 15 分程度（質疑応答含む）です。プレゼンテーションに使用するファイルを USB メモリなどに入れてお持ちいただくか、事前にファイルを事務局までお送りください。

■講演要旨

発表者は講演要旨を 20 部程度印刷して持参してください。

★作成方法

講演要旨は A4 縦置き横書きで作成し上下左右の余白を 25mm 程度お取りください。演題 14pt、本文 10.5pt のフォント使用を推奨しますが、本文の構成は著者の自由とします。原則として事務局による修正は行いません。一般研究発表では目安 2 ページ以内とします。

★支部会誌「東北の農業気象」への掲載許可と要約文ご送付のお願い

支部大会終了後、発表者の皆さまには講演要旨の PDF ファイルと、講演内容の要約(250 字程度)を事務局宛にお送りいただきます。講演要旨を支部会誌「東北の農業気象」に、要約は本会誌「生物と気象」上に支部会報告として掲載させていただくことをご了承ください。